

ICTを活用した新道路交通調査体系検討会 設立趣旨

ICT技術が急速に進展する中で、効率的にビッグデータの収集が可能となり、道路分野においても、ETC2.0データの道路施策への活用が積極的に進められている。

加えて、平成29年8月に取りまとめられた社会資本整備審議会 道路分科会建議において、「今後、交通最適化に向けて、道路利用状況のシームレスな把握や人とクルマの動きを同時に把握可能な新たな調査体系の確立が必要である」との提言がなされているところである。

これらを踏まえ、これまで5年に1回実施されてきた道路交通センサスを主体とした、車に焦点をあてた調査体系から、ICTをフル活用した常時観測を基本とする平常時・災害時を問わない「新たな道路交通調査体系」の構築を目指すため、人・自転車等を含めた道路空間に存在する全ての主体の利用データ収集にあたっての課題抽出や具体のデータ利活用方策について、多様な交通モードとの連携も視野に入れた検討を行うことを目的として、当検討会を設置するものである。